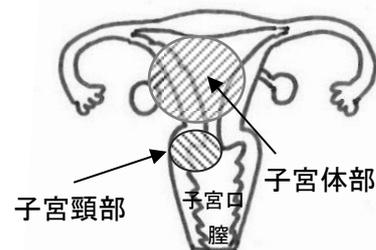


子宮頸がん検診をお受けになる方へ

子宮がんには、子宮頸がんと子宮体がんがあり、今回の検診は、子宮頸がん検診です。

子宮頸がんは、子宮の入り口にできるがんです。

HPV（ヒトパピローマウイルス）が原因で、主に性交渉で感染すると言われています。自分の免疫力で自然に消えますが、ごくまれに長期感染して子宮頸がんを引き起こします。



《検診前のお願いと注意》

1 妊娠中の方や妊娠の可能性のある方は、医療機関での受診をお勧めします

2 生理中の方へ

検診はできますが、再検査になる可能性もありますので、できるだけ生理中を避けていただくことが望ましいです。

3 脱ぎ着しやすい服装（スカート）でお越しください

検診車内の更衣室は大変狭くなっています。

ズボンやストッキングは避け、下着の脱ぎ着しやすい服装でお越しください。

4 子宮内に器具やチューブを装着されている方へ

子宮内に器具やチューブを装着されている場合、器具の種類によっては、子宮の入り口がふさがれ検診ができない場合があります。

《検診後のお願いと注意》

少し出血する場合があります

子宮の入り口をブラシでこすり細胞を採りますので、**少し出血する場合があります**。（出血は自然に止まりますので心配はありません。なお、出血が続く場合は、お近くの産婦人科を受診しましょう。）

※ 血液サラサラのお薬（抗凝固剤等）を飲まれている場合、出血しやすくなります。

～不正出血のある方へ～

今回の検診結果が異常なくても、不正出血やおりものに異常、性交時痛があれば、**子宮体がん検査**を受けましょう。閉経後の出血は、早めに医療機関受診をお勧めします。

《検診の結果について》

検診結果はおよそ1か月後になります。精密検査が必要となった場合には、あなたが希望した医療機関に当協会から紹介（予約）を行います。その際、検診結果と所見を送付していますので、精密検査を必ずお受けください。

精密検査には、膣拡大鏡（コルポスコープ）で、子宮頸部や膣壁を精密に観察するコルポスコープ診や、子宮頸部の組織を採取し、調べる組織診などがあります。また、子宮頸がんを引き起こす可能性のある HPV 感染の有無を検査する HPV 検査を行うこともあります。

公益財団法人 香川県総合健診協会

裏面もお読みください